

個性豊かな多くの作品

現在、市内には多くの窯元があります。
焼き物のあたたかさに、触れてみませんか。



▲詳細は観光ポータルサイト
「ココロミチル」をご覧ください



check

筑前感田焼

平成元年から感田焼でつくり始めた”回り燈籠”。柔らかな光に包まれ、インテリアとしても幻想的な雰囲気を演出してくれます。

所 感田2640

問 筑前感田焼 ☎26-6666

宮原隆窯

作品の中には普段の生活で使える実用的な陶器をはじめ、干支をモチーフにしたものなどがあり、随時新作が並びます。

所 永満寺1055

問 宮原隆窯 ☎24-6620



check



check

高取 熊谷窯

フォルムが彫刻的で美しく、色彩の豊富さが魅力の高取焼の手法を取り入れ、現在は茶道具等を販売しています。

所 上頓野2204-13

問 熊谷窯 ☎090-8223-1640

春の陶器まつりを開催 4/24(金)、25(土)、26(日)

「第69回高取焼陶器まつり」

テーマは
「小鉢」



期間中は全商品2割引きで、普段よりお得に高取焼が購入できます。この機会にぜひ、お立ち寄りください。

所 永満寺窯、高取焼工房 末吉宏光、
福智山ろく花公園

料 花公園は入場料300円が必要となります。

購入した人には入場料をキャッシュバックします。

問 直方高取焼組合 ☎22-2279

地元の伝統に触れる

マイ茶碗づくり



市内の全小学6年生が地元の伝統工芸に触れる恒例行事「マイ茶碗づくり」が実施されました。「古高取の会」が主催するこの取り組みは、令和7年度に17年目を迎えました。こどもたちは同会の指導を受けながら、粘土の感触を楽しみつつ、世界に一つだけの自作茶碗を丁寧に作り上げました。

焼き上がった器を自作の茶碗を用いたお茶会も開催。マイ茶碗でお茶を点てて味わう貴重な時間にこどもたちは目を輝かせていました。高取焼の「マイ茶碗」は、故郷の温もりを感じさせる一生の宝物となることでしょう。

暮らしの中で楽しむ。

花を生ける花器や、小さな置物、壁に飾る陶板等、部屋の中にそっと置くだけで空間にあたたかみが生まれます。

器として使う楽しさと、飾って眺める楽しみ。高取焼には、暮らしの中でさまざまな楽しみがあります。



陶器は、食卓を彩る食器としてだけでなく、市内で開催される陶器まつりやこども達の陶芸体験等、地域のさまざまな場面で親しまれています。

食卓に並べて、華やかに。

毎日の食卓に、高取焼の器を取り入れてみませんか。手になじむやさしい形や、土のぬくもりを感じる風合いは、いつもの食事を少し特別な時間してくれます。

ご飯茶碗や湯のみ、小鉢等、日常の食卓で使いやすい器として親しまれている高取焼。使うほどに愛着が増していくのも焼き物の魅力です。



直方の文化を、
日常に。